

医療人統合教育学習センター・統合教育学習室（ICT ラボ）

研修プログラムに関するアンケート調査

集計結果

2011 年 8 月 19 日

東京女子医科大学医療人統合教育学習センター
統合教育学習室（ICT ラボ）ワーキング委員会

お問合せ先：医療人統合教育学習センター

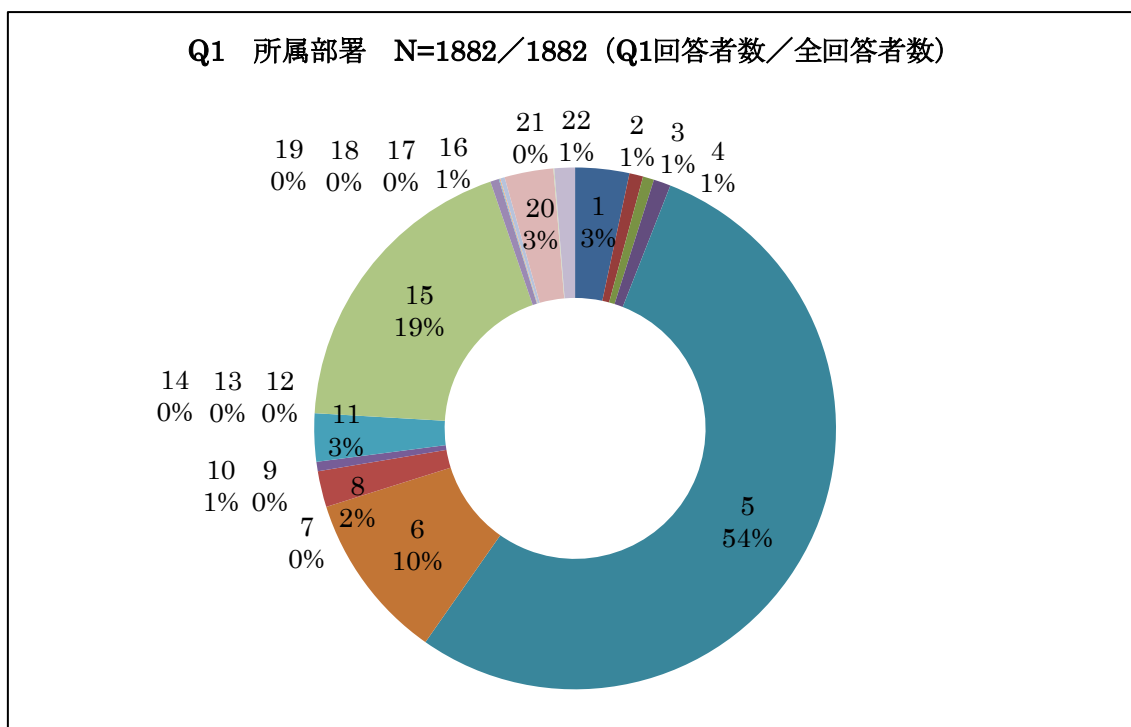
TEL：03-3353-8112 内線：31331

FAX：03-5269-7375

E-mail：ecim.bm@twmu.ac.jp

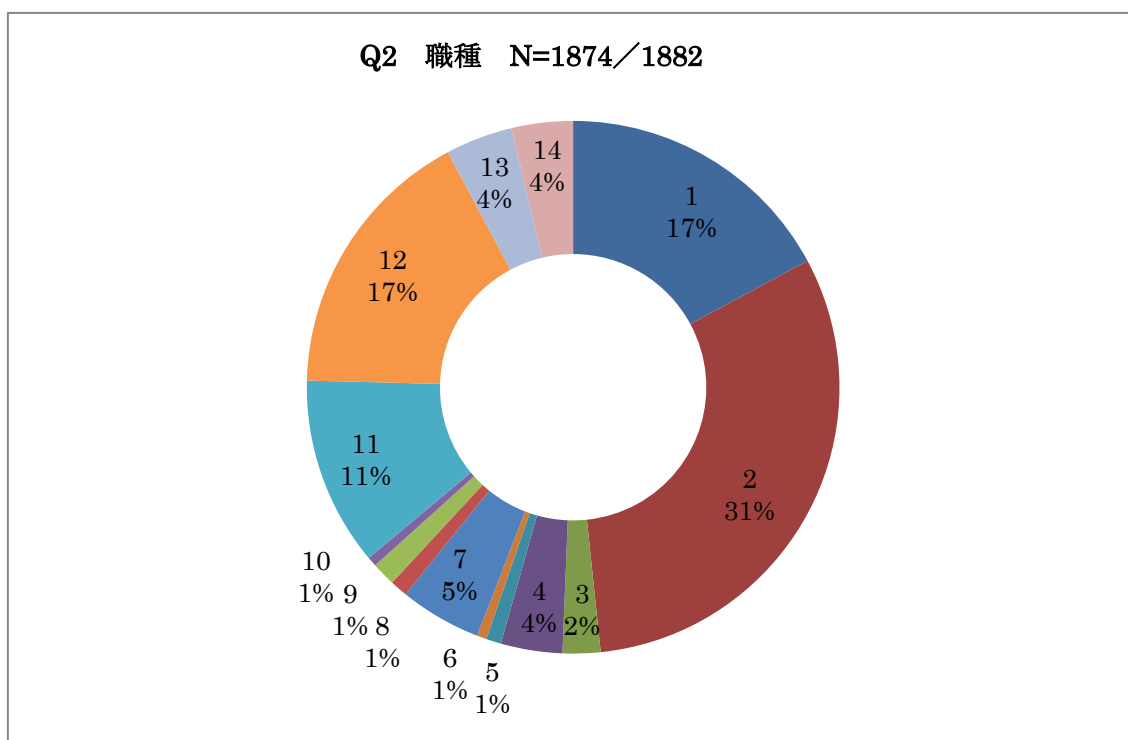
Q1 あなたの所属施設（もしくは部署）についてお聞かせ下さい。当てはまる数字を一つ選び、○を付けてお答え下さい。

1. 医学部（学長室、学務課、基礎教室）、2. 看護学部・看護学研究科、3. 図書館、4. 看護専門学校
5. 東京女子医科大学病院（本院）、6. 東医療センター、7. 附属成人医学センター、8. 附属膠原病リウマチ痛風センター、9. 附属女性生涯健康センター、10. 附属東洋医学研究所、11. 附属青山病院、12. 附属青山女性医療研究所、13. 附属青山自然医療研究所、14. 附属遺伝子医療センター、15. 附属八千代医療センター、16. 先端生命医科学センター、17. 統合医科学研究所、18. 実験動物中央施設、19. 総合研究所、
20. 大学本部、21. 施設部、22. その他



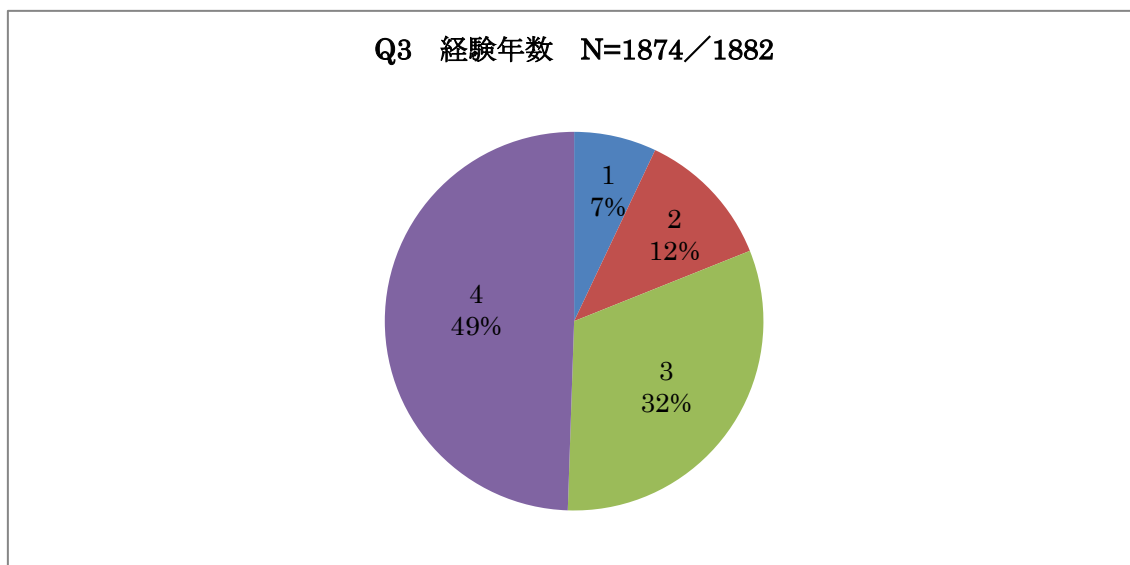
Q2 あなたの職種についてお聞かせ下さい。当てはまる数字を一つ選び、○を付けてお答え下さい。

1. 事務職、2. 看護師/助産師、3. 臨床工学技士、4. 検査技師、5. 理学療法士、
6. 作業療法士、7. 薬剤師、8. 管理栄養士・栄養士、9. 調理師、10. 司書、
11. 医療練士/初期研修医、12. 教員、13. 診療放射線技師
14. その他（具体的に)



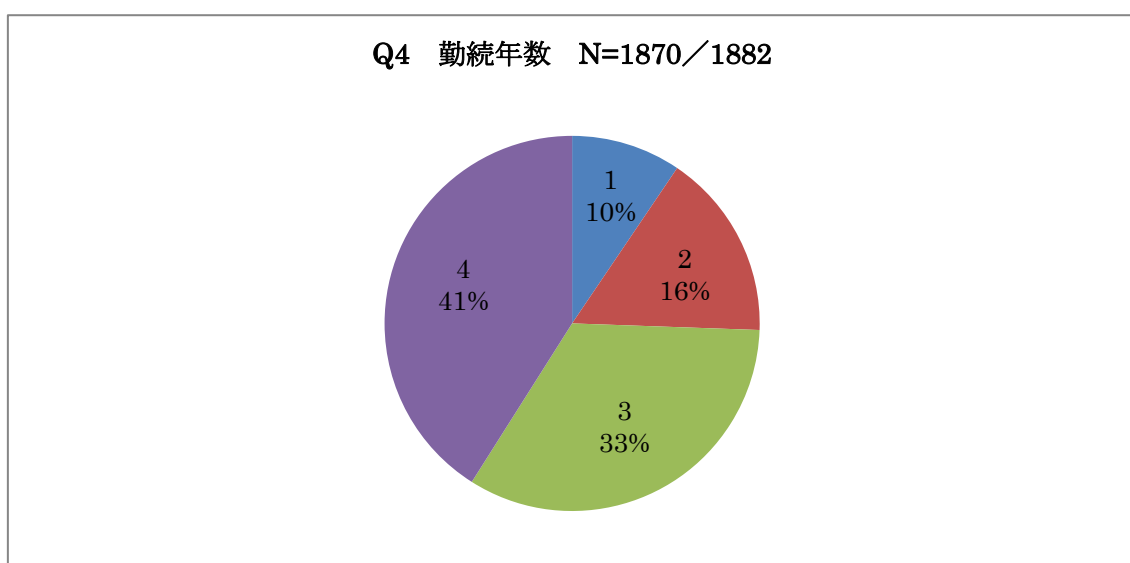
Q3 今の職種の経験年数（他の職場での経験も含む）についてお聞かせ下さい。当てはまる数字を一つ選び、○を付けてお答え下さい。

1. 1年未満
2. 1年以上～3年未満
3. 3年以上～10年未満
4. 10年以上



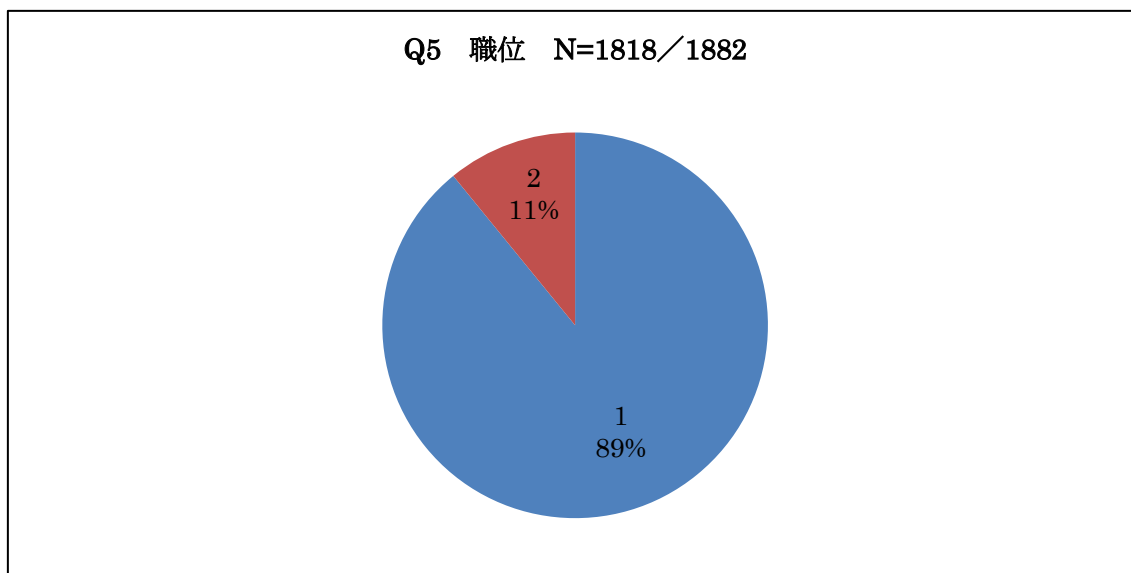
Q4 東京女子医科大学での勤続年数をお聞かせ下さい。当てはまる数字を一つ選び、○を付けてお答え下さい。

1. 1年未満
2. 1年以上～3年未満
3. 3年以上～10年未満
4. 10年以上



Q5 あなたの職位についてお聞かせ下さい。当てはまる数字を一つ選び、○を付けてお答え下さい。

1. スタッフ、2. 管理職



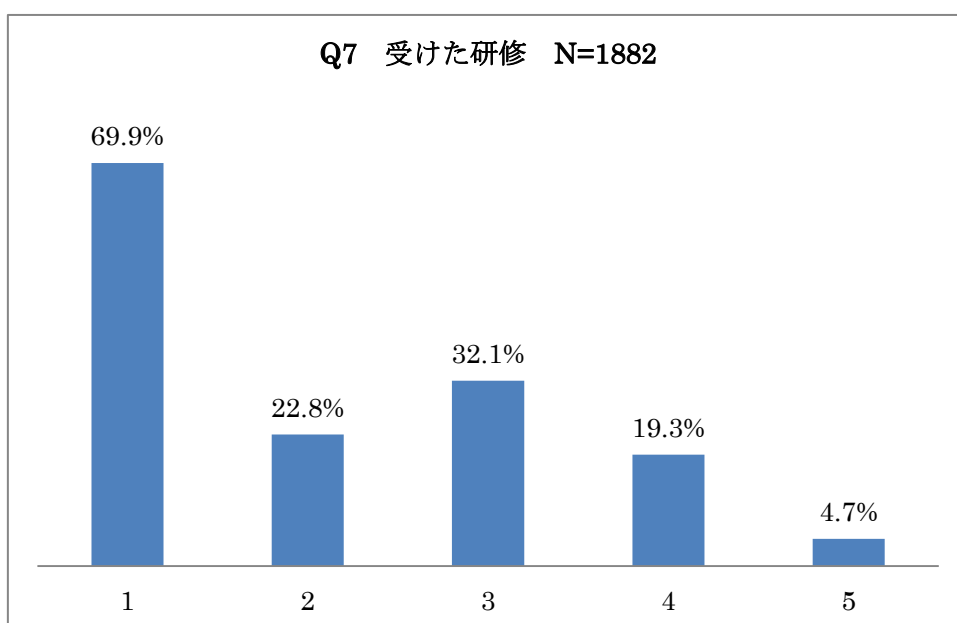
Q6 あなたは職場内で年何回ぐらい、研修を受けますか？ []の中に具体的な数字を記入して下さい。

およそ年 [] 回

| | |
|------|----------|
| 平均 | 3.554129 |
| 標準偏差 | 12.06161 |
| 最大 | 360 |
| 最小 | 0 |

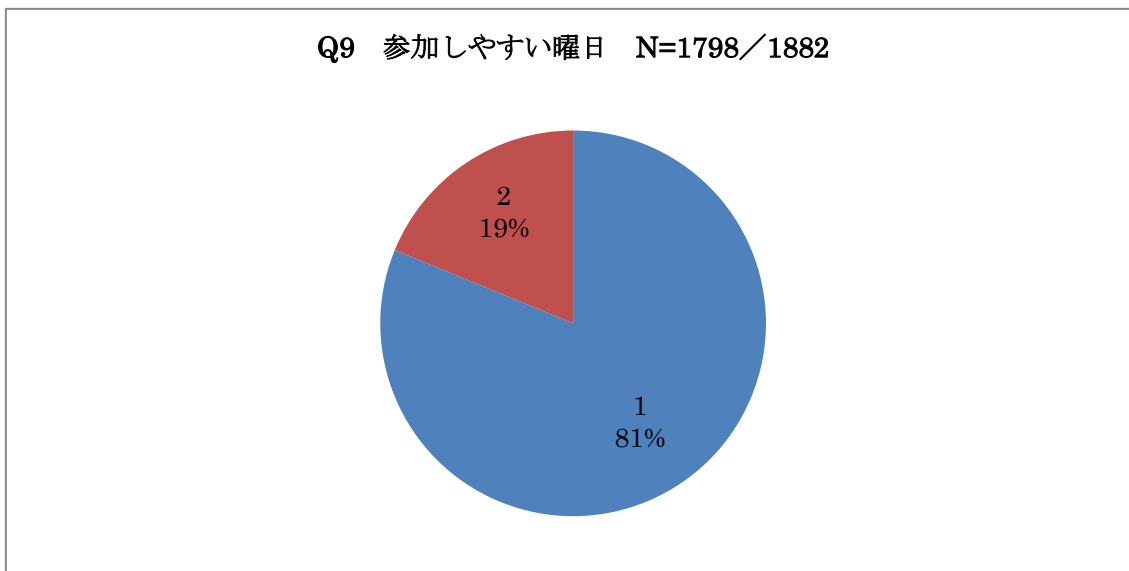
Q7 あなたがこれまでに職場で受けてきた研修についてお聞かせ下さい。当てはまるもの全てに
○を付けてお答え下さい。

1. 業務上必要となる専門的な知識・技術に関する研修
2. 部署内や他部署との連携・協力に関する研修
3. リーダーシップやマネジメントに関する研修
4. 教養や人間性を育む研修
5. その他（具体的に)



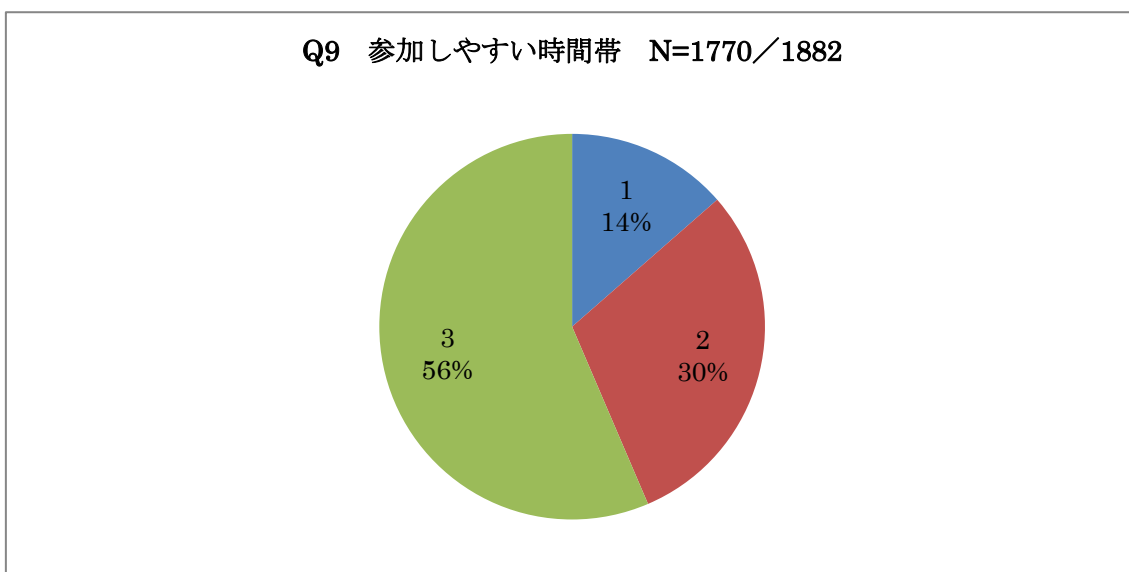
Q8 あなたが研修に参加しやすい曜日をお聞かせ下さい。当てはまる数字を一つ選び、○を付けてお答え下さい。

1. 月～金曜日、2. 土曜日



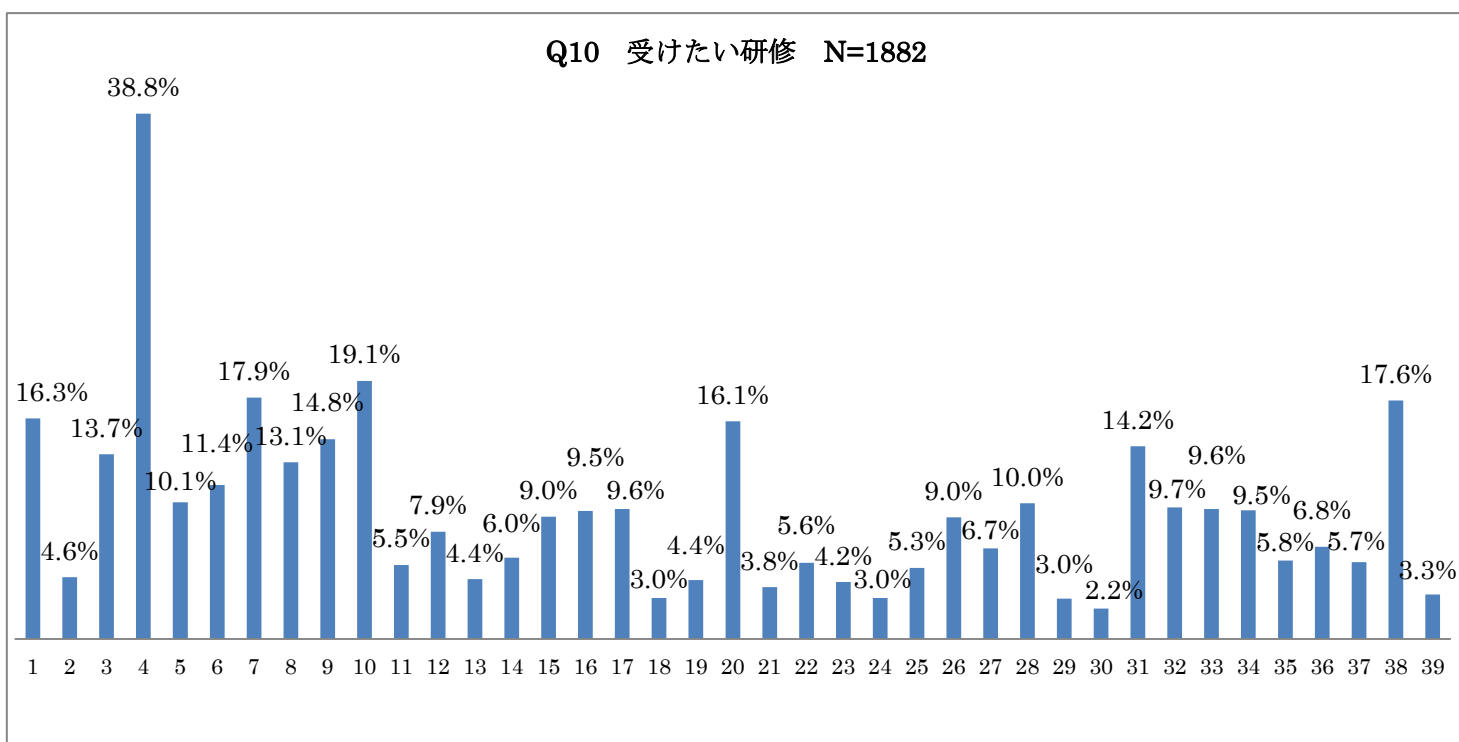
Q9 あなたが研修に参加しやすい時間帯をお聞かせ下さい。当てはまる数字を一つ選び、○を付けてお答え下さい。

1. 午前中、2. 午後、3. 勤務時間後



Q10 あなたがこれから参加してみたいと思う研修についてお聞かせ下さい。当てはまるもの全てに○を付けてお答え下さい。()内には具体的にお書き下さい。

1. 医療安全について（具体的には ）、
2. 全人医療について（具体的には ）、
3. 先進医療について（具体的には ）、
4. 業務上必要となる専門的な知識・技術について（具体的には ）、
5. 病気予防や健康の維持・増進について（具体的には ）、
6. 教養や人間性を育む研修（具体的には ）、
7. チームワーク（部署内外との連携・協力）、8. 患者さんとのコミュニケーション、
9. 接遇マナー、10. クレーム対応、11. アサーション、12. カウンセリング、
13. コンサルテーション、14. ティーチング、15. コーティング、16. リーダーシップ、
17. 人材教育、18. 物品管理、19. 会計処理、20. 情報処理（パソコン操作等）、
21. 資料整理、22. 医療倫理、23. 研究倫理、24. 教育倫理、25. 職場倫理、
26. 研究方法、27. 教育方法、28. 東洋医療（漢方医療）、29. 民間療法、
30. その他の代替療法、31. メンタルケア、32. 感染管理、33. 薬について、
34. リスクマネジメント、35. 病院管理、36. 医療動向、37. 国際協力、38. 医療英語
39. その他（具体的には ）



Q10 1. 医療安全について（具体的には）

KYT (Kiken Yochi Training)

KYT など、事故を未然に防ぐ、アクシデントの分析・対策

アクシデント、インシデントの分析方法、分析結果の事例の紹介

アクシデント時などの具体的な対処法について

アクシデント事例の分析方法

アクシデント発生時の対応

医療安全の考え方、理論

医療訴訟への対応

医療機器

医療裁判事例

医療事故に対する安全対策

医療事故防止対策の実際

色々な感染対策についてなど

インシデント、アクシデント予防について

インシデント・アクシデント発生時の対応の仕方

院内感染対策、ヒヤリハットとヒューマンエラー

院内講習会

オーダーリングシステムと医療安全に関して

患者様対応

感染、医療ミス

感染・リスク管理

感染症

感染対策

感染対策、疫学

感染対策やリスクマネジメント

感染予防

感染予防、医療訴訟

感染リスク

機器管理

危険予知トレーニング(KYT)について

急変対応、シミュレーション医療教育

緊急時の対応

国内で標準的なインシデントの報告の方法

コミュニケーションスキル

災害時の見直し
最新情報や対処法
最新の医療に関する情報など
事故からのリスクマネジメントなど
事故内容の分析とその視点、医療事故をどのようにとらえるか、新人と旧人のミスの背後要因
のの違い、いつもと違う状況下でのミスもミスとしてあるのか、忙しい時のミス
システムの問題、改善策の具体的、病院全体としての取り組みと考え方
事例についての対応と結果
事例から学べること、インシデント、アクシデント予防
事例検討、他病院・他施設の取り組み、原因・誘因など具体例での検討
事例検討
事例など
スタンダードプリコーション
精神論ではない客観的根拠に基づいた方法論
セミナーなど
全般
対策の導き方、継続の方法
耐性菌について
正しいスタンダードプリコーションについてさらに習得したい
どのようなアクシデントがあったかについて知る
トラベルシューティングなど
何でも
ノンスキルコミュニケーション、ISBAR、ヒューマンファクター
ノンテクニカルスキルについてトップの意識を変える医療安全
背後要因
背後要因
背後要因
背後要因の分析
働くうえで自分の身を守ることはどういうことか？
ヒューマンエラー
ヒューマンエラー
ヒューマンエラー
ヒューマンエラーの仕組み
ヒューマンエラーの防止
病院で起こった事例についての検討や問題
病院での医療安全室の働き

病院としての方針、ルールについて
分析方法や現状について
放射線、コンプライアンス
法律的な知識
見落としやすい点など
リスク回避の実際
リスクの低減について
リスクマネジメント
リスクマネジメント
リスクマネジメント
リスクマネジメント
リスクマネジメント
リスクマネジメント
リスクマネジメント
リスクマネジメント
リスクマネジメント、KYT など

Q10 2. 全人医療について（具体的には）

Bioethics(生命・生体倫理)
Pt との信頼関係構築に関するもの
がん医原
がん緩和
患者接遇
緩和ケア
急変時等、医療人として必要な知識
グリーンケア
これからの時代に求められる医療人の感性・専門性
実存的転換に結びつく看護師の役割
身体、精神、社会面も合わせた医療について。福祉医療や医療コストのものなど
説明と同意
ターミナルケア(多くは末期がん患者に対する終末期医療および看護のこと)
大学病院での全人医療の在り方
大学病院におけるプライマリケア
チーム医療
チーム医療について
ノン・テクニカルコミュニケーションの応用

福祉について

保険請求など金銭面のこと

Q10 3. 先進医療について（具体的には）

IPS 細胞 (Induced Pluripotent Stem Cell) の臨床応用など、人工関節の仕組み

IT 関連

IVR (Interventional Radiology)

NIW の専門的な知識

PET 研究薬剤の合成等

新しい薬や治療（保険外のものも含めて）

新しい治療法について

新しい治療法や薬などについて。移植医療について

移植、脳死

移植医療

遺伝子学、統合医療

遺伝子治療

遺伝子治療

遺伝子治療や移植などについて

院外で十分に行えている

オペに関して

海外での医療制度について

外国での治療法など

化学療法など

化学療法に関すること

各科で新しく導入されていることやこれからの展望など、再生医療、移植医療など

がん

がん医療

がん相談

がん治療

救命対応

クリティカルケア

経済、医療費

ケモ、ラジエーション

現在研究のものなど、当院で行っている学会発表内容など

細かい内容

今後の課題や取組の可能性について
最新医療について
最新の医療機器
最新の化学療法
再生医療
再生医療、遺伝子治療
再生医療などについて
再生医療について
再生医療について
最先端薬剤の情報
産科で使われる医療
自分の職務に関するもの
重粒子治療、分子操作薬剤
小児医療全般
女子医大で扱うもの
女子医大で受けられる先進治療と費用、国内の現状と今後
女子医大で開始されている先進医療について
人工心臓、臓器移植
大腸 ESD について
大腸 ESD について
治療など
何でも
広く浅くという感じで
分子標的のクスリ
本学が特に取り組んでいる先進医療について
本学で実施しているものについて特に
倫理面を特に
ロボテックサージェリー

Q10 4. 業上必要となる専門的な知識・技術について（具体的には）

2 年目なので自己成長につながるもの
ACLS、PALS、JTEL
AED の使い方
CT
CT、MRI 撮影法

CT、MRI など撮影機器関連
CV や人工呼吸器などの管理方法
DPC 保険算定
FD の拡充
ICLS、呼吸ケア
ICLS、挿管介助、緊急時の対応、IVR、IVNs
ICLS、フィジカルアセスメント
ICLS など
IT スキル
IV ナース
IV ナース
IV ナースなど
NST の運営について
NST の動向
PALS
PC
PC、医療知識
PC 関連
PC スキル、学校会計、税金等
PC ソフト関連、マネジメント
PC について
VTO 製剤について様々な情報知識、Divis 技術、患者情報
新しい情報で「知らないと恥ずかしい」知識
新しい知識・技術
新しい調理システム
新しい治療検査、カプセル内視鏡など
アロマ、リンパ浮腫へのケア
医学
医師としての基礎知識のアップデート
以前行われた医療行為の変更・注意など。例えば、中心静脈は鼠径部が第一選択でなくなり、
 施行の際に同意書が必要になったなど
医薬品、医療機器の基礎について
医薬品の政治的な動き、方向性について
医療(事故有害事象)事故の調査・検証能力
医療機器管理体制と使用者教育
医療機器の取り扱い

医療事故に関する知識
医療制度
医療に携わる者として一般的な知識
院外で十分行えている
オーダーリングシステム、電子カルテ
解剖学、診断学、治療
化学療法
化学療法など
化学療法の基本、統計
核医学検査薬剤の合成等
各科全般、機器類、不穩の対応
各部署ごとに合う勉強会
科ごとによくある疾患などについて
画像撮影
学会などへ参加、講習会
がん看護、栄養管理
がん看護、透析、ストマ管理など
看護技術
看護業務
看護師としての知識・技術
看護診断
看護の基礎的な技術など、トランスやポジショニングなど
感染症の動向(国内外)、薬剤耐性菌など
がん相談
管理職研修
緩和ケア
緩和ケア、栄養関係、ICT
機器管理と病院運営の関係
技術向上
基本的な病気の病態や看護を数日間で講義
救急
救急救命に関するもの、AED など
救急対応
救急の処置、連携
急変時の対応、新生児蘇生講習会
急変対応

救命救急医療について
教育技法、教育評価
教育セミナー、学会など
教育に関して
教育に関する内容
教育に関するもの
教育法
業務管理
緊急、救急対応について
緊急時の対応
クスリの扱い方
グリーフケア
クリニカルパス
外科の基本的な手技
血液浄化関連の研修
血液浄化業務
言語聴覚療法、嚥下
検査業務に関係する疾患の治療や薬について
検査方法
検査方法等
研修医に必要な基本的知識
講演会や勉強会など
口腔ケア
口腔ケア、嚥下訓練法
口腔ケアについて
口腔ケアについて、失禁について
呼吸管理、DM について
呼吸管理、ME 機器の使い方
呼吸器、BLS
呼吸器、カテーテルなどのセットアップの方法
呼吸器、急変時の対応など
呼吸器など
最近の撮影方法
最新知識について
最新治療法
最先端の撮影技術開発

最先端の知識

際杖違法や最新の放射線機器について研修する

細胞活性、再生医療

産科、助産学、新生児蘇生、常に新しいことを学びたい

歯科で使用される CAD/CAM について

疾患、病状、対応

疾患と病態、ケアについて、看護の視点について

疾患について

実験に必要な機器類の研修

周産期領域での知識・技術

手技

手技

手術技術

手術に関するもの

消化器系の術式や血管のつなぎ方、再建方法等。これらが CT や MR の画像上でどのように評

価されるか、医師の視点からの評価の仕方

情報系技術など

静脈注射

症例検討

褥瘡のケア医療機器の使用法など

褥瘡の研修

所属している部署以外でも行う技術

所属部署で必要となる知識、技術

資料論、展示技術

腎・糖尿病

新規入職の多い組織であり、基本的内容は毎年行っても良いと思います

人工呼吸器

人工呼吸器、カテ

人工呼吸器、血液浄化、補助循環

人工呼吸器、小児の看護と家族ケア、呼吸アセスメント

人工呼吸器、褥瘡

人工呼吸器、人工心臓の管理

人事的知識、病院業務管理的知識

腎臓移植や VA 作成の仕方など

心電図

心電図、ICLS、呼吸管理、せん妄ケア、がん看護、

心電図、呼吸機能など
心電図、レスピ、創傷処置
診療報酬
スタッフも教員同様専門大学院、留学で知識を高めることを認めるべきだと思う
摂食・嚥下について
全科対象で
先進医療など新しい治療法に必要な看護技術について
せん妄や認知症について
専門調理など
専門分野別なもの
装置研修
装置の管理、原理の理解
蘇生や急性期の対応
他院から専門職(同職)を招いての講習会
他職種の仕事内容
チーム医療
知識・技術を向上させたい、全般的に
知識の再確認や技術の習得
知的財産関係
超音波トレーニングコースなど
調理
調理関係のこと
調理技術
電子カルテ操作、個人情報の取り扱い方
電子カルテ操作方法
電子カルテの基礎的知識から応用・実践まで
統計学、先進技術
疼痛コントロールやストマケア
疼痛について
疼痛や呼吸管理などについて
トリアージ、PALS
ドレーンの管理(袋に水を入れるものと入れないものなど)
内科医として必要な知識など
内視鏡、生理機能業務で必要な知識について学びたい
難聴やめまいについて
妊産褥婦への健康管理

熱中症の治療・看護、アナフィラキシーの治療看護
ネットワーク、サーバについて
肺ケア、皮膚ケア、人工呼吸器など
配属している科に必要な技術
病気のこと、解剖的なこと、機械(装置)について
病態、生理機能に伴う薬の使用、抗がん剤の基礎知識
病棟でよく見る疾患や看護技術
病理検査の技術について
フィジカルアセスメント
副作用の遺伝子的評価法について
腹部エコー
物品管理や医療経済について
文献検索のより良い教え方
文献検索法、EBM について応用の仕方
弁護士などによる医療裁判に関するもの
防災(BCP)
放射線診断について
放射治療の最近の動向
他企業の同部署でも必要とされている知識
保険請求について
保険の仕組み
保険の種別や区分について
ポンプの扱い方、12 誘導の取り方
麻酔管理の実践
マナー、言葉遣い
マネジメント
自らのスキルアップにつながること
メンタルヘルスケア、カウンセリング、セルフケア
モニター・ライン類の位置やポジショニング技術の共有
薬学、臨床における治療について、病態についてなど医学知識
薬剤と疾患、検査値
薬剤について
薬物治療全般
薬物療法、治療指針、病態について
輸液、薬品、各症状別のケーススタディ
輸液の実践的な考え方

輸血療法に関して
リーダーシップ、コミュニケーション、管理について
リハビリ関連
リンパ浮腫の勉強がしたい
倫理的事
レセプト
レセプト
レセプト業務に関する知識
レセプト業務について
レセプトの査定について
老年看護学
労務や人事のことなど
目標管理の進め方、問題解決能力、手法

Q10 5. 病気予防や健康の維持・増進について（具体的には）

アロマセラピー
アンチエイジング
インフルエンザなどの感染性について
うつ病
栄養、予防学、感染など
栄養と調理との関係
疫学的な調査と感染症法についてのセミナーとか
海外での取り組み方
がん看護
患者様に自信を持ってお勧めできる予防増進の新しい知識
患者さんに指導する際に必要となる栄養・生活習慣について
患者さんへの指導方法
患者指導について
患者に分かりやすい説明ができるような
がん予防について
禁煙プロジェクト
事務職で運動不足になりがちなので健康維持の研修
小児の急性期から在宅まで、虐待の対応
食生活
スタッフのセルフケアと職場にあるべきサポート体制について

生活習慣病
成人病の予防方法、生活習慣病予防について
成人病予防
日常生活をしていく上での療養の注意点など
妊娠糖尿病の人への産後のケア
病院と地域保健
病態生理を学びたい
保健指導(保健師が行える保健指導について)
マッサージ
未病の考え方と最新医療のコラボ
メタボ、アンチエイジング、家庭でもできるもの
メタボ対策を定期的に
腰痛予防
予防医学、食事について
ワクチンの使用

Q10 6. 教養や人間性を育む研修(具体的には)

Ns は身だしなみについてのマナーがあるが、女性医師の身だしなみはとても悪い。病院として
茶髪や長い髪を結ばない、アクセサリー多数、手のネイルなど禁止し、統一すべき。
アサーション、コーティング、コミュニケーション
アサーティブコミュニケーションについて
忙しくて優しさを忘れてしまうことがあるので、優しくなる勉強
一般的常識
医療人・教育者として身に付けるべき習慣
英会話
英会話、手話等对患者とのコミュニケーションツール
各分野で活躍中の人の講演会
看護について必要な教養(専門的な)
気持ちがギスギスしてゆとりがなくなることへの対処
教育方法
研究に関するもの
後輩指導の対応の仕方
語学学習
コミュニケーション技術
コミュニケーション教育の充実

実践できるもの、ヨガとか

写経など実際に参加できるもの

職業人、社会人とは

心理学に基づくコミュニケーションの取り方など

ストレスに対するセルフケア、管理職のマネジメント

成人学習理論や新しく変更されたガイドラインなど

接遇など

組織論

哲学的なもの

陶芸

特に浮かびませんが、仕事だけでなく社会で生活をしていく上で、人間性を高められるようなテーマがあれば参加してみたいです。

病院職員としてのマナー

文献検索

報告・連絡・相談を通したコミュニケーションをリーダーだけでなく職員全員に行って欲しい

マイクロティーチング

マナーの見直し、日本語の見直し

ワークライフバランスやストレスマネジメント

Q10 39. その他（具体的には）

10、31 について評論家の講義ではなく、実務者の研修であれば受けてみたい。

14、15、16、17、27 の項目に関して医療従事者以外の方々から話を聞きたい。

AED

DPC

QC

アサーティブなコミュニケーションについて、今後研修参加予定

医学統計学

一般英会話

今時の一年生に適応するための術を知りたい

今ので充分

医療行政、国の対策

医療行為に関するクレーム訴訟問題になるものとの区別

医療資源政策、病院経営

医療事務

院内の仕組み、何処でどのようなことをしているかが分かる講習会、どの職種でも受けられる

医療知識を深められる講習
受付で役立つ手話、英会話、韓国語
海外の方々との交流会
学生カリキュラムの変更点。国試の変更点。文科省の医学・看護に関する今後の方針
家族の心理面への対応について
必ずどの職場にもある、特定の職員や業務等が嫌で辞職したくなるような場合の“相談する先
は何処か？”
看護師だけでなく事務や技師も必要と感じるから
患者対応で外国人とのやり取りができないので事務処理などでよく使うような英会話
完寿ア・ご家族との関係からのクレームを最小限にする方法、知っておいた方が良い民間療法
救急蘇生法
経営
経営（訪問看護ステーションの一人経営）
経営学修士 MBA
経営マネジメント
抗がん剤や新薬などについて
国語力：何事にも基本的能力であり、医療現場で必要不可欠
個人の勤務経験、立場によって違うと思いますが、今の自分が思うことは、社会人として（看護
職は偏った見方しかできていないことが多い）知っておきたいことが必要だと思います。
災害時の事務職員（大学）の対応を
在宅ケア
残業や年休利用状況を考えるとあまり、積極的になれないかもしれません
上司や後輩との業務を効果的に運用するための関係の取り方
職員として上記題材の具体的な女子医大での現状など、部署が異なると全く分からないので
（女子医大を）中心に研修を行って頂ければコメディカルも参加しやすいのでは。
女子医大以外での医療について。例えば、順天堂が何故、病院ランキング 1 位なのかなど
新人教育研修
セクハラ、パワハラ
他職種との連携
正しい節電、誤った節電
電子カルテのプログラミングについて
統計
統計処理
統計処理、男女共同参画の観点から研修会、講習会は全て 17:00 までにして欲しい。DVD 閲覧
ではなくネットで ID パスワードでいつでも受講できるようにするとか e-learning 方式にすると
かネット配信で見られるようにして欲しい。研修の講師は他業種のプロにして欲しい。

統計法

特許管理

なし

認可された医療のことなど

人間関係改善法

病院の経営的な話。Bedを何%で何日で回せばどれだけの利益になるのか？頑張っているのに常に未だ足りないと言われ続けて嫌な思いをしている。

弁護士などからの医療事故・カルテ開示対策など

防災管理

法律関係、医療だけでなく民法的なもの

法律について、患者からの暴力などの件

他大学病院との連携できるものなど

保険

マネジメント

マネジメント

有名な方の講演を聞き、リフレッシュしたい

ワクチンについて、予防接種、災害対策